



東海村

議会だより

第27号

2017.1



東海村スマイルマラソン

12月定例会

ゆめづくり基金 可決 P2

村政を問う！ P6

3月定例会日程 P14

イモゾーファミリーと学ぼう 議会の豆知識③

「委員会」ってなんですか？ P14

基金 可決

平成28年第4回定例会（12月議会）は12月1日に開会し、9日から13日に一般質問（11人）が行われました。一般会計と特別会計の補正予算については、予算決算委員会の審査を経て、20日に議案審議を行いました。議案審議では、一般会計補正予算を含む予算関連10件、人事院勧告等に伴う「村職員と村特別職の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例」などの条例改正8件、その他「東海村（仮称）歴史と未来の交流館建設のための基金の設置・管理及び処分に関する条例」や、「東海駅西口広場再整備のための基金の設置・管理及び処分

に関する条例」などの議案7件、合計25件の議案を原案のとおり可決しました。

付託されていた2つの請願について、委員長より審査報告があり、「TPP協定を国会で批准しないことを求める請願」では、賛成2人反対2人の討論が行われ、賛成少数で、委員長報告と同じく不採択となりました。

また、「周辺自治体への原子力安全協定の権限拡大を求める請願」では、賛成4人反対4人の計8人が討論を行い、賛成少数で、委員長報告と同じく不採択となりました。

平成29年度から東海駅西口広場再整備事業を行うため、財源を確保して計画的に事業を推進します。その準備のため12月定例会で基金条例を制定し、事業費を積み立てます。

29年度事業費（見込み額）3億9,960万円のうち3億1,820万円を積み立てます。財源は電源立地地域対策交付金です。



東海駅西口広場
茨城国体に向け
整備始まる



ここをチェックしてください

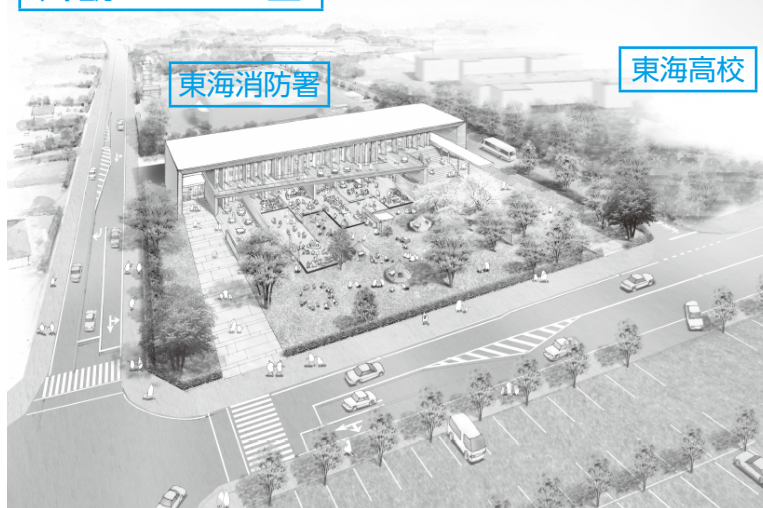
いきいき茨城ゆめ国体2019

第74回国民体育大会

翔べ 羽ばたけ そして未来へ

ゆめづくり

外観イメージ図



(仮称) 歴史と未来の交流館建設準備
基金に積み立て

(仮称) 歴史と未来の交流館建設事業を進めるにあたり、財源を確保し、計画的に事業を推進します。その準備のため、12月定例会で基金条例を制定し、事業費を積み立てます。基金額は約7億円です。財源は電源立地地域対策交付金です。

各議員の賛否 (議案・請願で賛否の分かれたもの)

	新政とうかい											光風会		豊創会		公明党		無会派			結果
	鈴木	飛田	村上	舩井	大内	越智	河野	武部	吉田	寺門	笹嶋	江田	恵利	村上	阿部	岡崎	植木	大名美恵子	清宮	新垣麻依子	
	昇	静幸	邦男	文夫	則夫	辰哉	健一	慎一	充宏	定範	士郎	五六	いつ	孝	功志	悟	伸寿		寿子		
議案第86号	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
議案第93号	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
議案第94号	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
議案第105号	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
請願第28-2号	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	不採択
請願第28-3号	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	不採択

○…賛成

×…反対

議案名と要旨

議案第86号	東海村職員の給与に関する条例及び東海村特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
人事院勧告等の給与改定に伴い、月例級の引上げや扶養手当の見直しを行う条例	
議案第93号	東海村包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
介護保険法施行規則の一部改正により、主任介護支援専門員の定義改正に伴う条例改正	
議案第94号	平成28年度東海村一般会計補正予算(第4号)
平成28年度一般会計の補正を求める議案	
議案第105号	公有水面埋立てに関する意見について
公有水面埋立法等に基づき、茨城港港湾管理者(茨城県知事)より意見を求められたため、議会の議決を求めるもの	
請願第28-2号	TPP協定を国会で批准しないことを求める請願
TPP協定を国会で批准しないことを求めるもの	
請願第28-3号	「地域と住民の安全確保を強めるために、日本原電が『安全協定』を見直すよう求める行動を要請する意見書」の採択を求める請願
原子力安全協定に係る、立地自治体と同様の権限を、近隣自治体にも認めるなどの要請をするもの	

討 論

討論とは…自分の意見（賛成または反対）を表明し、その意見に反対する者や、賛否の意思を決めていない者を、自分の意見に賛同させることを目的に行うもの。

●請願第28―2号

TPP協定を国会で批准しないことを求める請願

建設農政委員会報告

↓不採択とすべきもの

賛成

豊創会

阿部 功志 議員

理解不十分の協定を国の後追いで認めてはならない。TPPは多国籍企業が儲かる制度。―SD条項で国の主権は崩され、農業ばかりか、消費者の権利、食の安全、保険・医療制度など生活が根本から破壊されるだろう。

反対

公明党

岡崎 悟 議員

TPP協定の承認と関連法の成立は、自由貿易を推進するという日本の固い決意と姿勢を世界に示すもの。自由貿易を基本とする環太平洋連携協定は、日本と世界経

賛成

無会派

大名美恵子 議員

済の発展・成長に、必要不可欠な協定である。

TPP協定には国会決議が求めた重要農産品の「除外」が盛り込まれていない。JA組合長の多くも「国会決議は守られていない」と回答している。

反対

新政とつかい

河野 健一 議員

農産物等の生産者の不安があることは理解しているが、市場の拡大により中小企業等が持つ技術力で、新たな市場開拓に繋がる可能性がある。また、美味しく安全な農産物を世界中へ展開できる機会でもある。

●請願第28―3号

「地域と住民の安全確保を強めるために、日本原電が『安全協定』を見直すよう求める行動を要請する意見書」の採択を求める請願

原子力問題調査特別委員会報告

↓不採択とすべきもの

賛成

光風会

恵利 いつ 議員

原発事故の影響は広範囲に及び、前提条件が根本から変わった。村民の命と安全を守るスムーズな避難のためには、近隣自治体の理解と協力が必要。そのためにも立地自治体である東海村議会は、率先して請願を採択すべき。

反対

新政とつかい

越智 辰哉 議員

「安全協定」はあくまでも二者協定。新たな権限やそれに伴う責

務等もあるため、当該自治体が議論すべきこと。つまり本村議会が拡大すべきかというものではなく、協議したうえで導かれる結果である。

賛成

無会派

大名美恵子 議員

人口過密地帯に立地する東海第二原発に係る安全協定の見直しは、早期実現が重要。率先垂範して意見書をあげてこそ、尊敬と信頼が得られる。

反対

新政とつかい

笹嶋 士郎 議員

東海村が原子力発電所を立地し、「安全協定」の見直しを行ってきた過程は、大変重いものがある。このことに比べ近隣自治体の議論は始まっておらず、それぞれの自治体の主体性に任せ、自治体が考え行動を起こすことが重要である。



豊創会
阿部 功志 議員

万一の事故の時、村民が避難させてもらうには、周辺の市の理解と協力が欠かせない。それを無視して再稼働の判断権限を村が独り占めしたいというのは倫理に反し、村は信用を失い、村民が周囲から厳しく批判される。



公明党
植木 伸寿 議員

原子力問題も村内にある福祉や村政の意見と同様に、民意を集約することこそ肝要と思う。他市町の議論については東海村議会として見守る立場と考える。それぞれの自治体間で、地に足の着いた議論を求めたい。



無会派
清宮 寿子 議員

原発立地自治体である東海村と県だけがもっている事前協議権を周辺市町村にも認めてほしいと要求することは、安全で平和に生きる生存権の拡充と民主主義そのもの。憲法の理念を具現化するつ

えでも、本村議会が率先して採択すべき。



無会派
新垣 麻依子 議員

安全協定の見直しが実現するまでの間、市民の安全確保を図るための措置として覚書を締結している。また、安全協定は、県・立地自治体・事業者の三者協定であるため各市町村に判断を委ねるべきである。

●議案第86号
東海村職員の給与に関する条例及び東海村特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例



無会派
大名美恵子 議員

扶養手当額の改定は、3割強の職員が減額影響が出るため容認できない。住民生活を考慮し、特別職と議員の期末手当引き上げも中止すべきである。

●議案第93号
東海村包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例



無会派
大名美恵子 議員

主任ケアマネジャーの資格の5年ごとの更新制に反対。必要な改定は、配置基準を見直し、より一層関係者のよりどころとなつていく。

●議案第94号
平成28年度東海村一般会計補正予算(第4号)



無会派
大名美恵子 議員

特別職と議員の期末手当を0.1月引き上げる予算計上に反対。また常陸那珂港東防波堤建設のための負担金は、国と県が負担すべきである。



光風会
江田 五六 議員

本村の財政見通しで、歳入の70%を占める固定資産税が10年後には40%減少する。それらを踏まえ、歴史と未来の交流館建設計画を進めるにあたり、建設の是非や適正規模について慎重に進めていくということなので賛成。

●議案第105号
公有水面埋立てに関する意見について



無会派
大名美恵子 議員

中央ふ頭用地の拡大は、隣接する建設機械メーカーの専用化を進めることに繋がる。東電火発の灰を埋めることも火発の長期稼働を促すことになり容認できない。

村政を問う！

一般質問

一般質問とは、村長や教育長に対して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、村政をより良い方向へ導くものです。質問時間は答弁を除いて1人30分。再質問、再々質問まで許されています。

植木 伸寿 議員 …… P 7

- 1 自転車の有効利用に向けた考え
- 2 ICT を活用した取り組み
- 3 魅力ある農政に向けた具体的取り組み

武部 慎一 議員 …… P 7

- 1 東海村における奨学金制度等の現状と今後の課題
- 2 日本語を母国語としない子どものための学習支援状況
- 3 個別長期計画が未完成の状態での総合管理計画の位置づけ
- 4 原子力事業長期停滞と東海村における産業支援
- 5 除染廃棄物現地保管から仮置き場への移設保管管理の今後の対応

笹嶋 士郎 議員 …… P 8

- 1 東海病院の更なる充実
- 2 中学生の職場体験受け入れ
- 3 都市計画税の使途
- 4 歴史と未来の交流館構想

阿部 功志 議員 …… P 8

- 1 広域避難計画の進捗状況と避難訓練の具体策
- 2 原発事故による経済的損失の試算
- 3 山田村長の次期村長選への出馬
- 4 学校教職員の過酷な勤務実態、勤務内容
- 5 小中学校へのエアコンの設置
- 6 小中学校での原子力教育

越智 辰哉 議員 …… P 9

- 1 駅待合室の利便性向上
- 2 駅の東西方向へのアクセス改善
- 3 担い手の確保・育成
- 4 放課後の子どもの居場所づくり

河野 健一 議員 …… P 9

- 1 空き家対策
- 2 地域公共交通
- 3 姉妹都市（アイダホフォールズ市）交流

恵利 いつ 議員 …… P10

- 1 耐震性のない旧公民館内に置き去りにされている青少年センターの今後
- 2 NPO法人の育成と行政改革の推進
- 3 来年度の学童保育の見通しと病児病後保育の取り組み

新垣 麻依子 議員 …… P10

- 1 地域での介護予防
- 2 介護施設の充実に対する考え方

清宮 寿子 議員 …… P11

- 1 広域避難計画の検証
- 2 子どもの貧困の連鎖を断ち切り、生活支援の必要性を把握するために
- 3 東海村公共施設総合管理計画の手法

吉田 充宏 議員 …… P11

- 1 道路行政
- 2 子ども・子育て支援
- 3 TOKAI原子力サイエンスタウン構想
- 4 平成29年度予算編成

大名 美恵子 議員 …… P12

- 1 子どもの医療費無料化の高校卒業までへの年齢引上げ
- 2 公共施設等総合管理計画（案）策定の目的
- 3 電算サポート事業、防災情報システム管理運営事業の委託
- 4 就学援助制度の充実
- 5 幼稚園・保育所等の担任を持った臨時及び代替え職員の処遇改善
- 6 東海第二原発の再稼働是非を判断する材料

※太字を掲載。

※議会ホームページでもご覧いただけます。

問 魅力ある農政の具体策は

答 人と農地の問題解決に取り組む

公明党 植木 伸寿 議員



議員 今後どのように農政を進めるのか。また「とうかい育ちシール」の経緯についても伺う。

農業委員会事務局長

この夏、14の集落で農業座談会を開催。担い手の確保や農地集積等の課題を共有した。これらを踏まえ5年後を見据えた農地利用に関する意識調査を実施し、関係者が情報を共有しながら、農地利用の最適化を推進する。

建設農政部長 「とうかい育ちシール」は、

村民の皆さんに東海村産農産物を知ってもらうことを目的とした取り組み。一定の要件を満たした新鮮野菜等に貼ることが可能。今後、効果を検証し地産地消の更なる拡大に役立てたい。

議員 優良農地を守るために農地集積は重要



東海村産の新鮮野菜

であるが、農地中間管理事業の実績はどうか。また、農業経営の安定化への取り組みは進んでいるのか。

建設農政部長 実績は

まだ少なく、農地の借り手を増やすために、規模拡大の支援や新規就農者の確保に取り組んでいる。また、特産品開発や6次産業化等により、農産物の付加価値を高めていく。

問 総合管理計画の意味する物とは

答 次世代への投資的経費計画を構築

新政とうかい 武部 愼一 議員

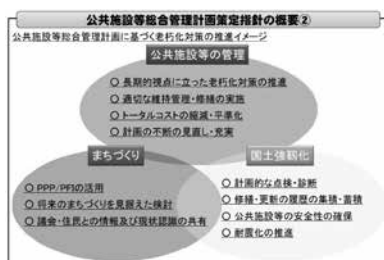


議員 総合管理計画

は、個別施設の更新時期や広域化の必要性、スクラップ&ビルド等を組み込んだ個別施設長寿命化計画を基本データとして、検討すべきもの。より確かな詳細な個別計画が、不透明な状態での計画から、何が課題として読み取れるのか、緊急の課題は何か、どの事業が優先されるのか。多くの課題もすべて平準化されたものが、どの程度信頼性があるのか。国への報告書の形態を整えるだけでなく、より確かな個別施設のカルテを構築した上で、より確かな東海村総合管理計画を構築することが必要ではないか。

総務部長 総合管理計画は、将来的な投資的経費を算出し、予防保全型の維持管理と長寿

命化、更新コストの縮減・平準化、公有財産の有効利用・広域連携・官民連携の推進を図っていく上での起点として位置づけている。今後は、全庁的な取り組みにより、定期的な見直しを行いながら、公共施設等を次の世代につないでいきたい。



公共施設等総合管理計画策定指針の概要
(総務省報道資料・総財務第74号別添2 (H26.04.22)より抜粋)

問 村立東海病院の更なる充実を

答 地域医療振興協会との連携を密にしていく

新政とうかい 笹嶋 士郎 議員



議員 村は、医師・医療スタッフを安定的に確保できると民間委託をしてきた。働く世代からの要望が強い、平日の延長診療ができないか、常勤の医師の増員はできないのか伺う。

福祉部長 指定管理者である地域医療振興協会とも協議しているが、背景に全国的な医師不足があり、常勤医師の確保が困難になっている。延長診療も医師の業務が、多岐にわたっていて難しい。
議員 村は、一般会計からの繰入金削減も民間委託を理由の一つにしているが、病院事業会計に現在20億円の内部留保資金がある。出資金などの削減についてどう考えているのか伺う。



更なる充実が求められる東海病院

問 原発事故の避難訓練 規模や手順は

答 全村実施の前に可能な範囲で検討

豊創会 阿部 功志 議員



議員 避難訓練の問題点は、訓練の規模、手順はどのようなものか。村単独では大規模にはできない。

村民生活部長 住民参加型で自家用車を使うことが想定されるが、交通事故対策や通行料、ガソリン代、東海スマートICの大型車通行許可、防犯対策等の課題がある。全村でなく、実施可能な範囲で考えている。大規模訓練は14市町村の計画策定後、県や関係機関が加わり、広域で検討されていると聞いている。

問 小中学校の教室にエアコン設置を
答 気象条件も見て設置できるか検証

議員 教職員の勤務環境整備と児童生徒の教育環境整備の両面から設置が必要。他の公共

施設にはすべてエアコンがある。いまは夏休み前後も猛暑で、教室はつらい場所。
教育次長 グリーンカーテンや扇風機によって環境に負荷をかけない方法で学習環境・職場環境を整えるように努めてきた。夏休みが長く、学校環境衛生基準を超える日も数日のみなので、必要性は薄い。気象条件等も考えながら検証していく。



課題の多い東海スマートIC

問 学童クラブだけでは対応不可

答 役場全体として早急に検討

新政とうかい 越智 辰哉 議員



議員 学童クラブの来年度の申込状況が逼迫しているとの話であるが、どのように対応するのか。

福祉部長 来年度の学童クラブの在籍数を算出すると白方・舟石川・中丸学童では115人程度定員をオーバーし、一方で石神・照沼学童では入所児童数に余裕がある見込み。そこで、入所できなかった児童を白方から石神へ、舟石川・中丸から照沼へバス移動することで対応する予定である。利用者が増えた要因としては、共働き世帯の増加や核家族化の進行に加え、高学年児童における継続利用者の増加が考えられる。

議員 こうした保育ニーズの高まりへの対応は、「学童クラブ」だけで対応することは

不可能。学校の空き教室の活用を含め、その対応策を役場全体で議論することを今年度からスタートさせるべきではないか。

副村長 「こどもの居場所づくり」については、喫緊の課題だと認識しており、役場全体で早急に検討していく。



学童クラブでの学習の様子



問 空き家対策の進捗は

答 的確な指導を行っていく

新政とうかい 河野 健一 議員



議員 昨年5月26日には空き家対策特別措置法が施行された。市町村としては、当該の区域内にある空き家等の所有者等を把握するための調査や、その他、空き家等に関しこの法律の施行のために必要な調査を行うことができるとされている。本村の調査の状況、今後の予定について伺う。

建設農政部長 平成27年度に予備調査を行い246件の空き家が判明した。現在は、実態調査とデータベース化を行っており、50%の進捗となっている。今後、平成29年1月に空家等対策協議会を開催し、空家等対策計画を策定していく。

議員 管理を行っていない空き家は、地域住民の生活環境の悪化を招いている。今後の対策について伺う。

建設農政部長 計画には、所有者等による適切な管理の推進を明記し、的確な指導・助言を行っていく。管理義務がある者が不在である場合も想定し、法に基づき行政代執行も含めた計画を策定していきたいと考えている。



空き家対策を望む

問 置き去りにされた 青少年センター

答 安全性確保のため今年度中に移転

光風会 恵利 いつ 議員



議員 耐震性が非常に低い旧中央公民館内に「高校生会」や「青少年センター」が未だ残っている。以前から対策の必要性を訴えてきたが進展が見えない。

教育次長 移転先として他施設の利用状況調査や移転費用など総合的に判断し対応策を検討中。職員・利用者には安全指導を行っている。

議員 関係者の安全確保の心構えは大切。しかし、まだ大丈夫だろうという安易な心理が働いていないか。命に係わる耐震問題について、責任者である教育長の考えは。

教育長 安全を最優先に、年度内に移転する。



青少年センターの危険な出入口

問 村の今後の財政見通しは

答 平成29年度から歳入不足の見込み

議員 税収減となっても多様化する住民ニーズ（要求）の質を落とすことなく行政運営、改革を進めるには、NPO（市民活動団体）などの協力を得ることが必要と考える。

村長 それぞれに活動してきた市民団体はじめ多様な機関が、連携してまちづくりに参加できるような協議会制度を進めていきたい。

問 介護施設の整備予定は

答 現時点で計画はない

無会派 新垣 麻依子 議員



議員 「施設から地域・在宅へ」との指針がでているが、自宅と介護施設を一人ひとりにあつた形で活用することで、その方らしい生活が送れる。在宅介護に対する支援の充実と並行して介護施設の整備も重要と考える。

東海村の特別養護老人ホームの待機者数を伺う。

福祉部長 平成28年4月現在で108名。そのうち、即時入所希望者が29名、他79名は必要時や1年以内の申込み希望者である。

議員 2025年の介護認定者数は現在の1.5倍との予測が出ているが、介護施設が整備されていることで選択肢が増え、介護難民になるリスクを回避できる。今後の介護施設の充実についての考え方を伺う。



介護施設の整備が望まれる

福祉部長 第6期高齢者福祉・介護保険事業では、特別養護老人ホームの整備計画はない。しかし、支援や介護が必要になった場合でも、自宅や住み慣れた地域の施設で安心して暮らせるよう、介護施設の有無も含め介護サービスのあり方を検討していく。

問 広域避難計画策定の責任と検証は

答 災害対策基本法に基づく自治体の責務

無会派 清宮 寿子 議員



議員 9月議会で、避難計画を議会での検証の必要性を質問した。村が責任をもって策定するとしての責任を持つとは具体的にどういうことか。

村民生活部長 災害対策基本法に基づき自治体の責務として、村が主体的に策定するものと捉えている。

議員 東京都の豊洲市場の盛り土問題で明らかになったように、行政は組織の長が責任を果たすことは難しい構造。11月、福島沿岸で津波警報が発令され、

自家用車による避難が交通渋滞で困難だった。東海第二原発でも避難時には同じこと。課題は山積。年度内の作成は困難との報道だが、3月末までに策定はしないことか。

村民生活部長 村民の一定程度の理解が得ら



白方地区防災訓練

なければならぬと思っており、年度内の計画策定は難しい。
議員 事故が起きた時、住民の命が守られなくなった場合、計画策定者が責任を持てないのは明らか。だからこそ避難計画に住民の意見が反映されていることを議会が検証すべき。

村民生活部長 議会からの意見・提案等は、計画への反映に努める。

問 道路整備の評価基準を定めるべき

答 点数評価が導入可能か調査研究する

新政とうかい 吉田 充宏 議員



議員 道路整備に関する要求が多いなか、限られた予算で要望の順位付けをどのように行い、優先順位を定めているのか。

建設農政部長 6つの地区で立ち上げている「みちづくり検討委員会」で「みちづくり基本計画」に基づき整備を進めている。みちづくり検討委員会では、各単位自治会から寄せられた要望書の優先順位を協議し、整備路線を決定している。

議員 建設農政委員会では、道路整備の優先順位評価基準を定めている宇部市を調査研究し、透明性の高い道路整備を推進していることを確認した。東海村においても道路整備の評価基準を定め、透明性のある管理を行うべきと考えるが見解を伺う。



みちづくり検討委員会（危険箇所の現地確認）

建設農政部長 東海村は、点数評価によって優先順位を決めていない。議員ご指摘の、点数評価によって優先順位をつける方法は客観性や透明性を高める方法として有効と考えるので、宇部市の手法も参考にし、導入が可能なかどうか調査研究する。

問 幼稚園等の 担任臨時職員に手当てを

答 担任の臨時職員の賃金を改善する

無会派 大名 美恵子 議員



議員 子育てや教育の分野は、本来正規職員の配置が望ましく、本村では来年度の幼稚園教諭と保育士の正規職員を採用した。しかし、全担任を埋めるだけの正規職員数にはならず、現場では産休や病休等代替え職も含め、臨時職員が担任を受け持っている。村は正規職員を採用しつつ、当面担任を持つ臨時職員に手当て等を検討してはどうか。

総務部長 臨時職員の担任配置の常態化や、正職員と臨時職員の職員数構成の逆転など課題の大きさは認識しており、計画的な採用に努めていく。また、従前より村としても臨時職員の同一労働同一賃金の観点から、喫緊に解決すべき事ととらえ、今般、担任の臨時職員に係る賃金を改善し、来年度からの募集を行うこととしている。

議員 産休代替え等担任も含めた改善か。募集はいつ頃行ふのか。

総務部長 産休代替えも含めた改善で、募集は、12月25日号の「広報とうかい」や村公式ホームページに掲載の他、ハローワーク等へ広く案内していく。



とうかい村松宿こども園運動会

第10回全国原子力発電所立地議会サミットに参加



全体会のようす



分科会のようす

舛井文夫議長ほか原子力問題調査特別委員会委員9名の議員は、11月10日～11日、東京都にある品川プリンスホテルにおいて開催された、全国原子力発電所立地議会議長会主催の「第10回全国原子力発電所立地議会サミット」に参加。サミットは、立地市町村議会議員や電力関係者など400人を超える参加者のもと2年に1度行われている。

今回のメインテーマは、「日本におけるこれからの原子力政策のあり方～原子力発電を将来世代にどう引き継ぐか～」。5つの分科会に議員が別れて参加した。

意見の異なる議員同士が、住民の安全・安心の確保、生活安定の向上、地域振興などに関し、地域住民の代表として、それぞれの見地から積極的な議論を展開した。

委員会レポート

健康で笑顔あふれる まちを目指して

文教厚生委員会

(10月31日～11月1日)



自然体験活動の取り組みを聞く
(国立妙高青少年自然の家)

①検診結果配布の徹底 (新潟県上越市)

検診結果配布の手渡しを徹底し、渡す際に個人個人に合ったアドバイスを行うことが可能になった。その結果、医療費の伸び率や、要介護認定者数の減少傾向につながった。

②豊かな自然とスタッフの熱意

(新潟県妙高市 国立妙高青少年自然の家)

四季を通じて様々な自然体験活動を行っていた。所長を始めとするスタッフの熱意も感じられ、その熱意が活動する子どもたちにも伝わっているようだった。

③エコマイレージ (新潟県妙高市)

健康増進の一環としてエコマイレージに取り組んでいた。また、住民間で健康教室を開催したり、地域で健康づくりリーダーを作ったり、健康に興味を持ってもらうことに取り組んでいた。

子どもたちの食と安全 文教厚生委員会 (11月24日)

学校給食の調理を指定管理者に委託し、4月から運用が開始されたことから、本委員会で見学を行った。

アレルギーへの対策や食事のバランス、メニューや味に至るまで、今まで培ってきたノウハウを引き継いでいることが確認された。まだ委託が開始されて半年しか経過していないので、今後も定期的に視察や意見聴取を行い、注意して観察していく。



子どもたちの給食 (東海村立白方小学校)

「道づくり」の先進的な取り組み 建設農政委員会 (11月16日～18日)

①播磨中央自転車道の整備

(兵庫県神戸市加東土木事務所)

国の先進的モデルとして進めているが、利用促進という観点で定期的なイベントも必要だと感じた。

②「農」の担い手総合支援事業 (広島県尾道市)

若い新規就労者を中心に、経営者として自立できるまで育成しようとする取り組みを行っていた。

③道路整備における市民要望の適正管理

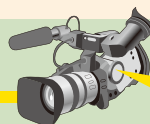
(山口県宇部市)

透明性のある管理の観点からも、道路整備の優先順位評価基準を定める取り組みは参考にすべきだと感じた。



道路整備の施工箇所を視察 (宇部市)

3月定例会日程(予定)



村内各コミセン
総合福祉センター「絆」
でライブ配信中

期 日	時 間	内 容	期 日	時 間	内 容
3月 1日(水)	午後 1時～	開 会	3月15日(水)	午前 9時～	予算決算委員会
3月 9日(木)	午前10時～	代表質問	3月16日(木)	午前 9時～	予算決算委員会
3月10日(金)	午後 1時～	代表質問	3月17日(金)	午前 9時～	予算決算委員会
3月13日(月)	午前10時～	一般質問	3月22日(水)	午後1時30分～	予算決算委員会
3月14日(火)	午前10時～	一般質問	3月27日(月)	午前10時～	議案審議

※日程は変更になる場合があります。

※開会・代表質問・一般質問・議案審議は、役場議会棟2階の議会事務局窓口で住所・氏名等を記載するだけで、どなたでも傍聴できます。(受付は30分前から)

イモゾーファミリーと学ぼう 議会の豆知識③

「委員会」ってなんですか？

本会議に提出された議案、請願などについて、詳しく審査や調査をするための機関です。委員会には常に設置されている「議会運営委員会」、「常任委員会」、「議会報編集委員会」、そして、必要に応じて設置される「特別委員会」があります。

なお、東海村議会には、5つの常任委員会と、「原子力問題調査特別委員会」、「議員定数及び報酬に関する調査特別委員会」の2つの特別委員会が組織され、各々の目的達成まで取り組んでいます。詳細については、下記 URL をご参照ください。

http://www.vill.tokai-gikai.jp/list_iinkai.php



編集後記

昨年の改選から早1年。新人議員を迎えて4回の定例会が行われました。去る12月議会においては、「TPP協定」と「原子力関連」の2つの請願に対して、委員会から審査結果が報告されました。これらに対し、延べ12人の議員により、賛成・反対の両立場から討論が行われました。(各議員の賛否については、3ページをご覧ください) 傍聴席や各コミセンでのライブ中継等から、活発な議員のやり取りがご覧いただけたと思います。

住民の方から議会活動が見えにくいという声をいただくことがありますが、議会人として真摯に受け止めて、今後も議員一同、みなさまの信頼に応えられるよう、一層勤めてまいります。
(恵利 いつ)

議会報編集委員会

委員長	植木 伸寿
副委員長	清宮 寿子
委員	岡崎 悟
恵利 いつ	吉田 充宏
阿部 功志	新垣麻依子